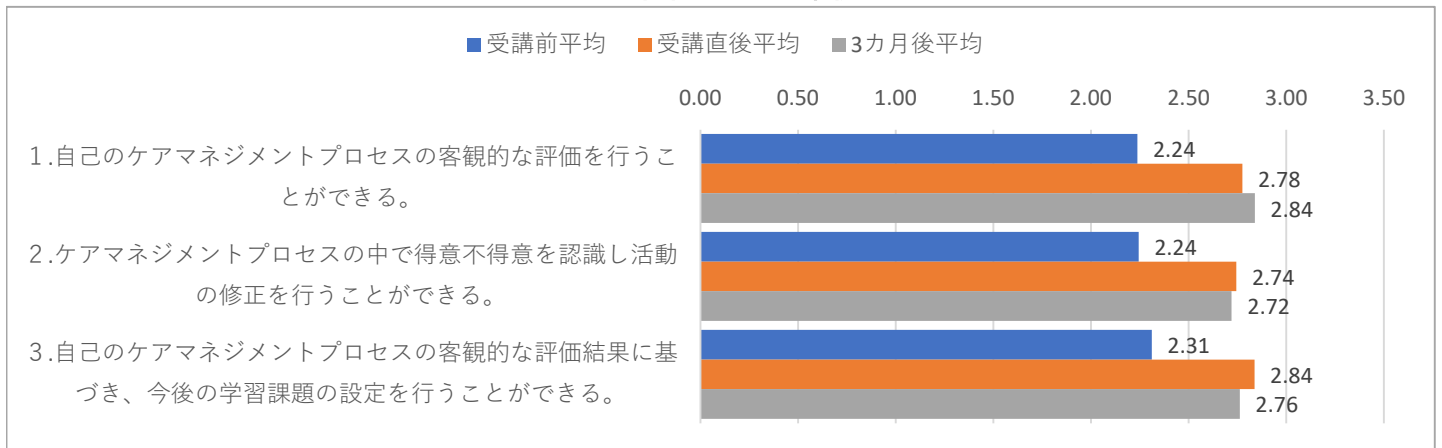


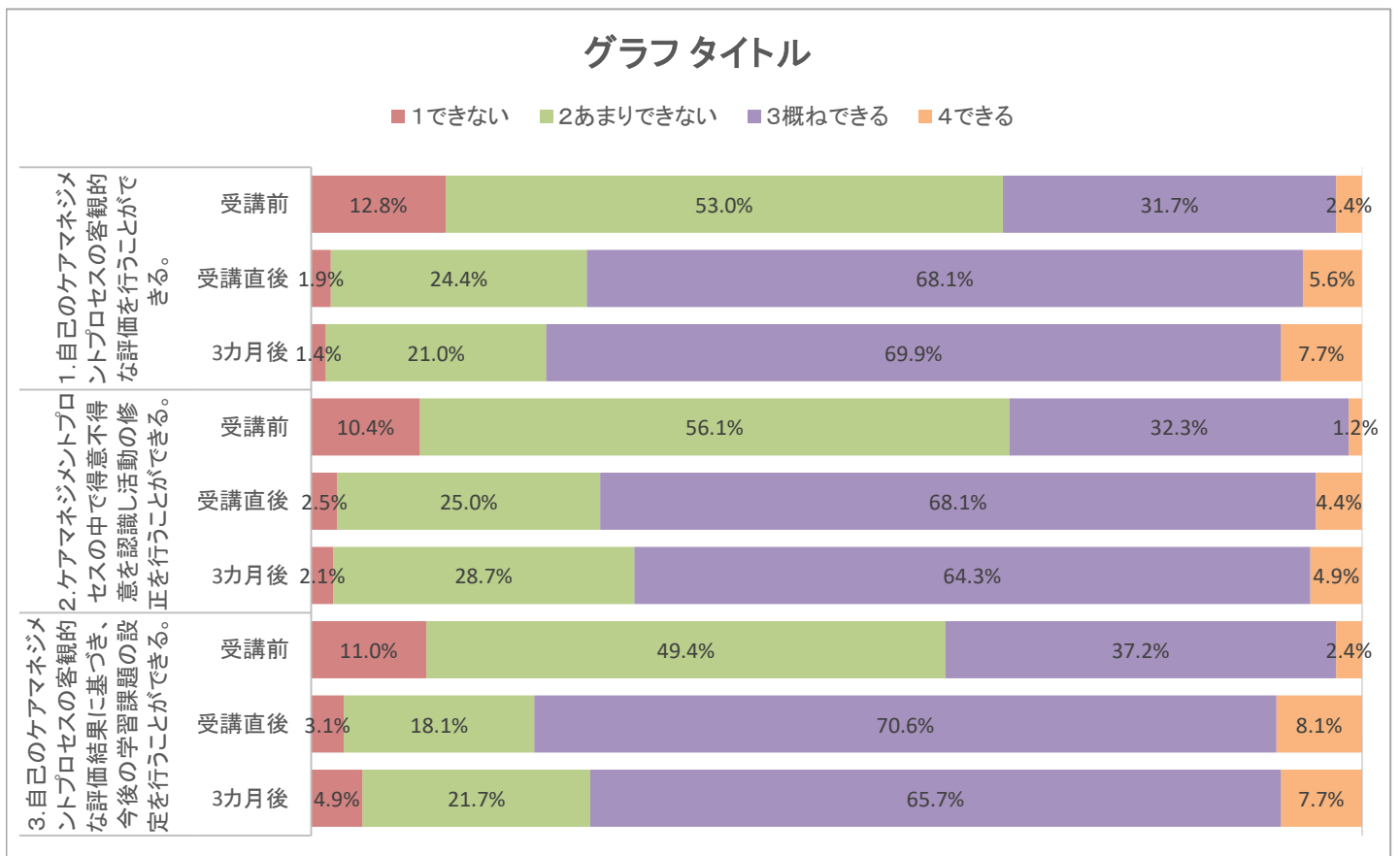
①ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 自己のケアマネジメントプロセスの客観的な評価を行うことができる。	2.24	2.78	2.84	0.60	0.54	0.06
2. ケアマネジメントプロセスの中で得意不得意を認識し活動の修正を行うことができる。	2.24	2.74	2.72	0.48	0.50	-0.02
3. 自己のケアマネジメントプロセスの客観的な評価結果に基づき、今後の学習課題の設定を行うことができる。	2.31	2.84	2.76	0.45	0.53	-0.08
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	164	160	143

自己評価平均値の推移



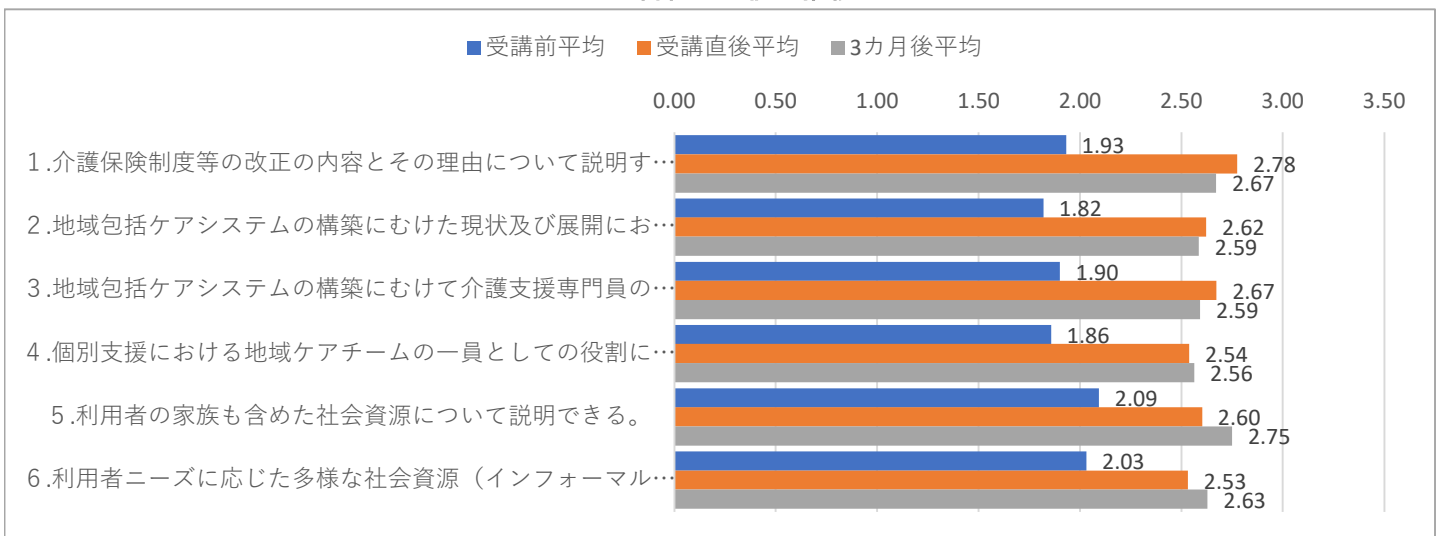
自己評価の割合の推移



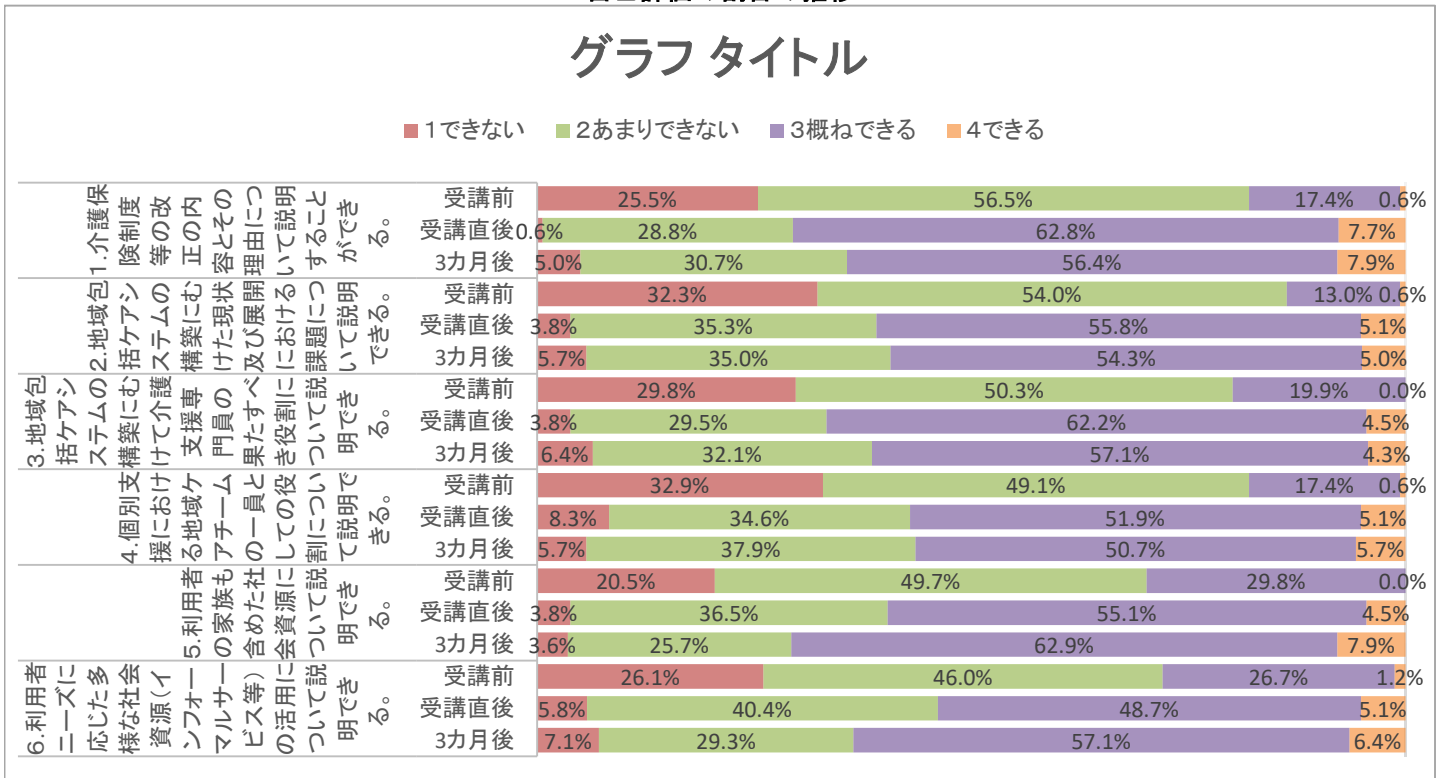
②介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 介護保険制度等の改正の内容とその理由について説明することができる。	1.93	2.78	2.67	0.74	0.84	-0.10
2. 地域包括ケアシステムの構築にむけた現状及び展開における課題について説明できる。	1.82	2.62	2.59	0.77	0.80	-0.04
3. 地域包括ケアシステムの構築にむけて介護支援専門員の果たすべき役割について説明できる。	1.90	2.67	2.59	0.69	0.77	-0.08
4. 個別支援における地域ケアチームの一員としての役割について説明できる。	1.86	2.54	2.56	0.71	0.68	0.03
5. 利用者の家族も含めた社会資源について説明できる。	2.09	2.60	2.75	0.66	0.51	0.15
6. 利用者ニーズに応じた多様な社会資源（インフォーマルサービス等）の活用について説明できる。	2.03	2.53	2.63	0.60	0.50	0.10
	受講前回 答数	直後回答 数	3カ月後 回答数	161	156	140

自己評価平均値の推移



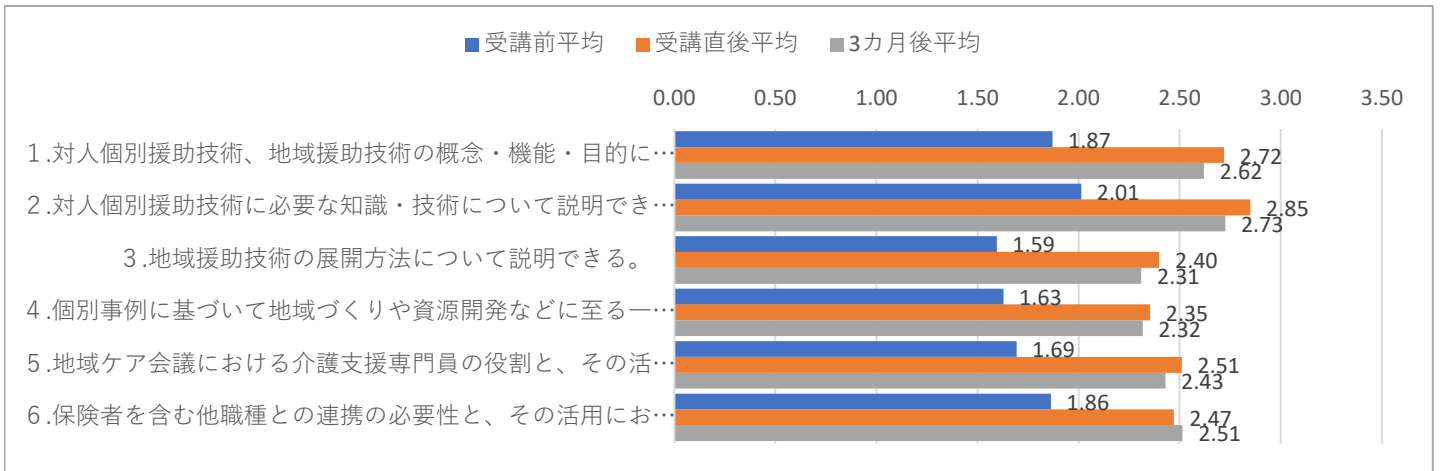
自己評価の割合の推移



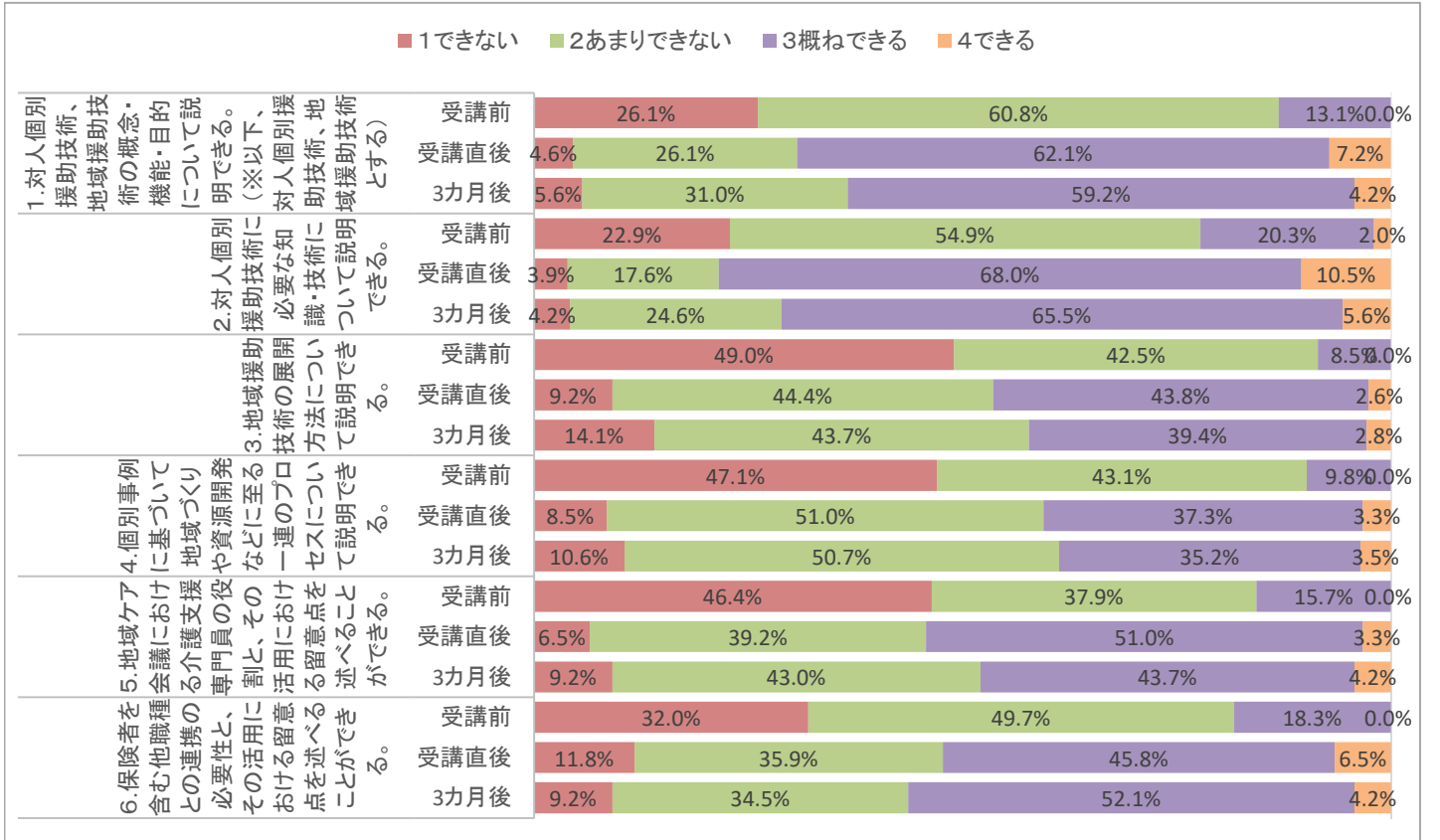
③対人個別援助技術及び地域援助技術

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 対人個別援助技術、地域援助技術の概念・機能・目的について説明できる。(※以下、対人個別援助技術、地域援助技術とする)	1.87	2.72	2.62	0.75	0.85	-0.10
2. 対人個別援助技術に必要な知識・技術について説明できる。	2.01	2.85	2.73	0.71	0.84	-0.12
3. 地域援助技術の展開方法について説明できる。	1.59	2.40	2.31	0.72	0.80	-0.09
4. 個別事例に基づいて地域づくりや資源開発などに至る一連のプロセスについて説明できる。	1.63	2.35	2.32	0.69	0.73	-0.04
5. 地域ケア会議における介護支援専門員の役割と、その活用における留意点を述べるができる。	1.69	2.51	2.43	0.74	0.82	-0.08
6. 保険者を含む他職種との連携の必要性と、その活用における留意点を述べるができる。	1.86	2.47	2.51	0.65	0.61	0.04
	受講前回答数	受講直後回答数	3カ月後回答数	153	153	142

自己評価平均値の推移



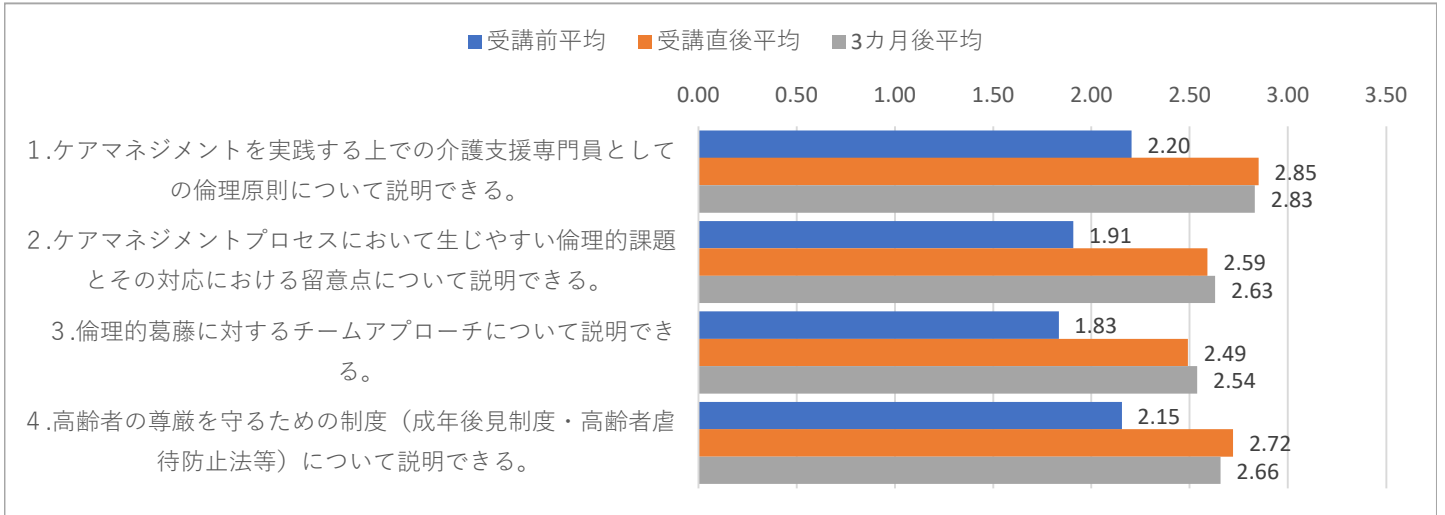
自己評価の割合の推移



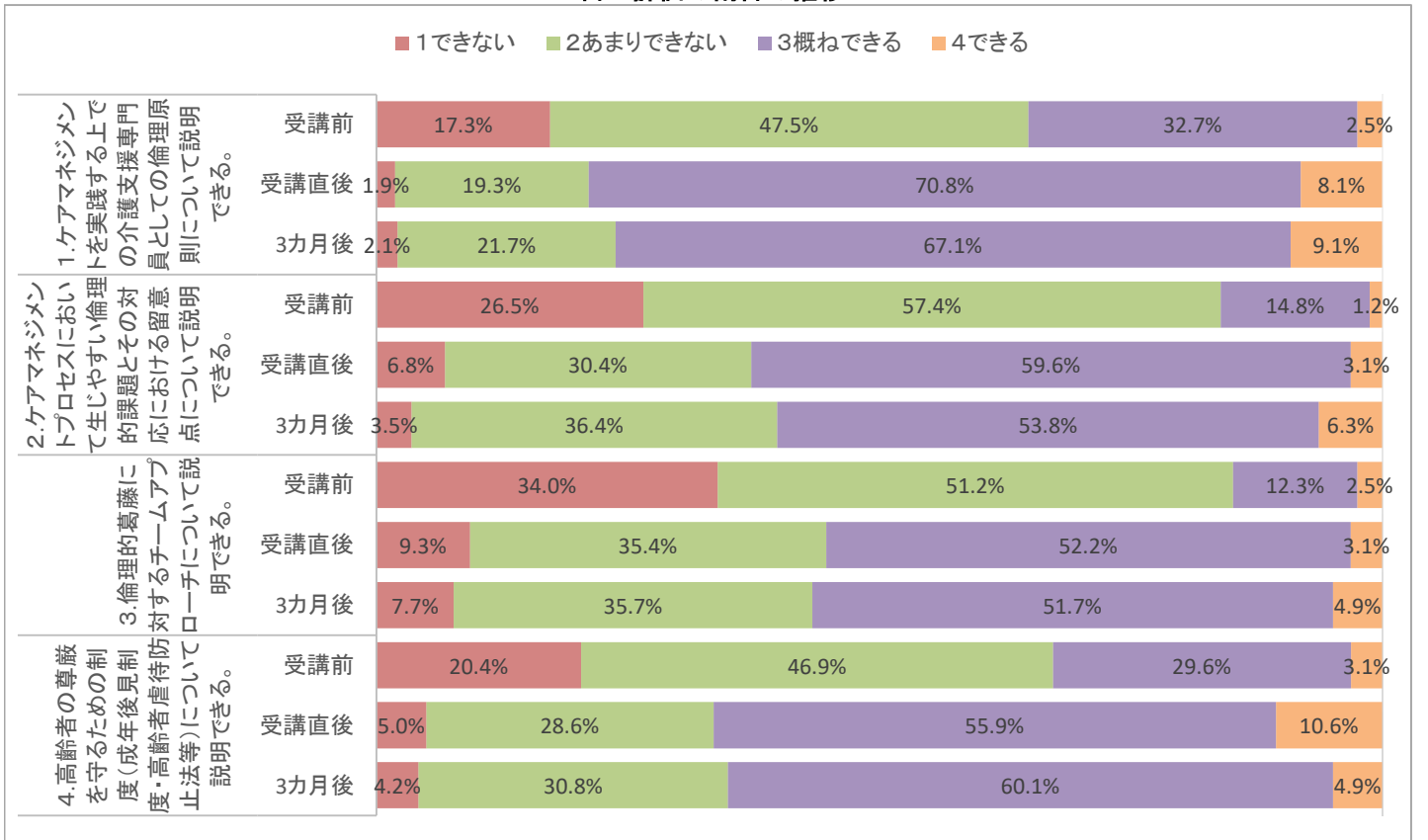
④ケアマネジメントの実践における倫理

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. ケアマネジメントを実践する上での介護支援専門員としての倫理原則について説明できる。	2.20	2.85	2.83	0.63	0.65	-0.02
2. ケアマネジメントプロセスにおいて生じやすい倫理的課題とその対応における留意点について説明できる。	1.91	2.59	2.63	0.72	0.68	0.04
3. 倫理的葛藤に対するチームアプローチについて説明できる。	1.83	2.49	2.54	0.71	0.66	0.05
4. 高齢者の尊厳を守るための制度（成年後見制度・高齢者虐待防止法等）について説明できる。	2.15	2.72	2.66	0.50	0.57	-0.06
	受講前回 答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	162	161	143

自己評価平均値の推移



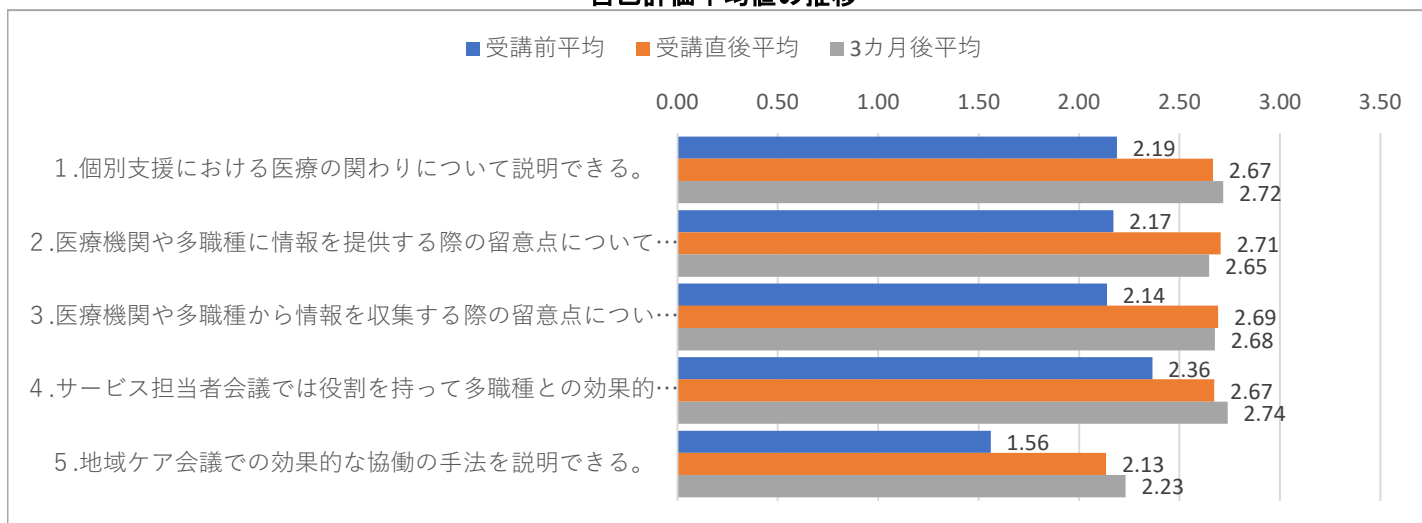
自己評価の割合の推移



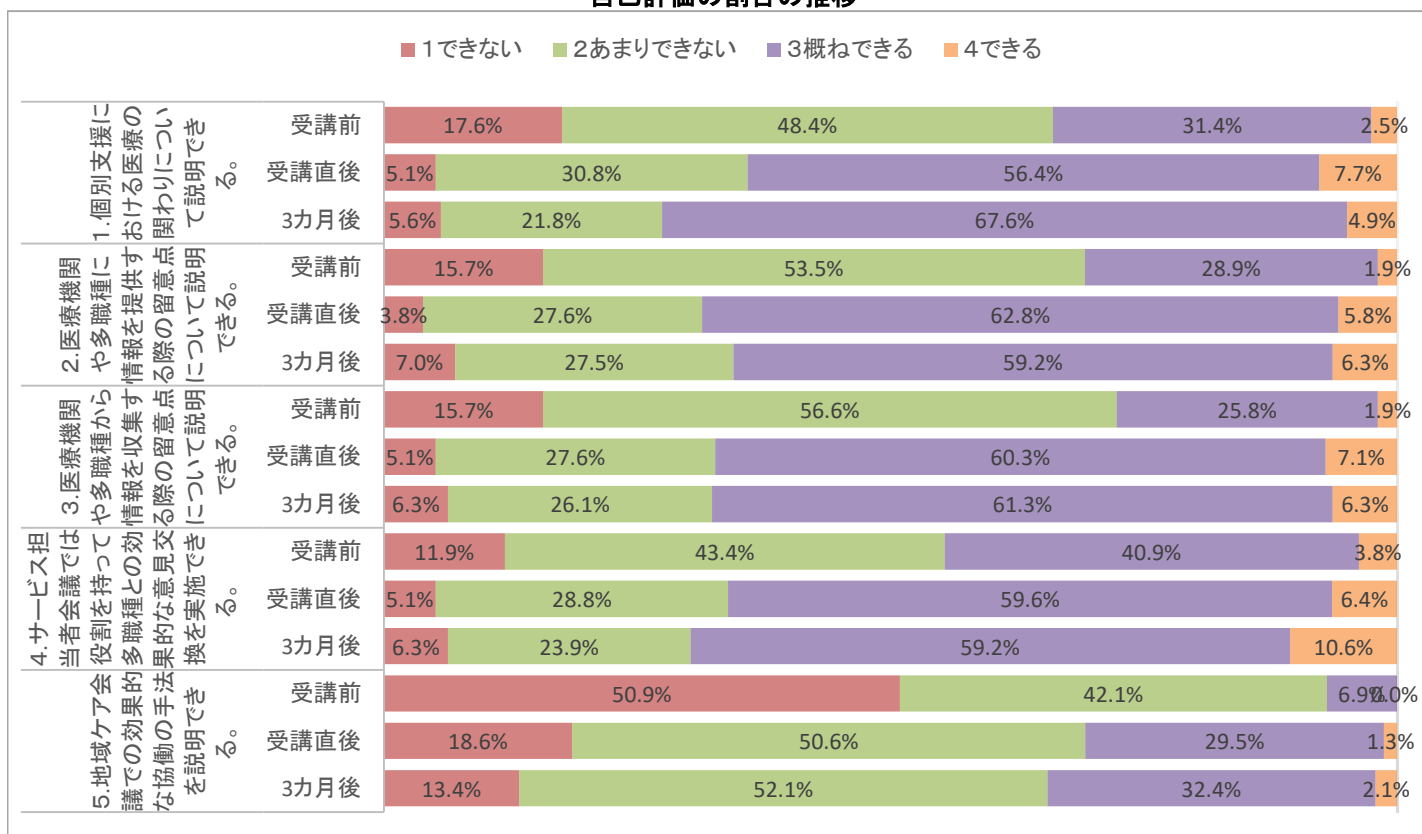
⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び他職種協働の実践

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 個別支援における医療の関わりについて説明できる。	2.19	2.67	2.72	0.53	0.48	0.05
2. 医療機関や多職種に情報を提供する際の留意点について説明できる。	2.17	2.71	2.65	0.48	0.54	-0.06
3. 医療機関や多職種から情報を収集する際の留意点について説明できる。	2.14	2.69	2.68	0.54	0.55	-0.02
4. サービス担当者会議では役割を持って多職種との効果的な意見交換を実施できる。	2.36	2.67	2.74	0.37	0.31	0.07
5. 地域ケア会議での効果的な協働の手法を説明できる。	1.56	2.13	2.23	0.67	0.57	0.10
	受講前回 答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	159	156	142

自己評価平均値の推移



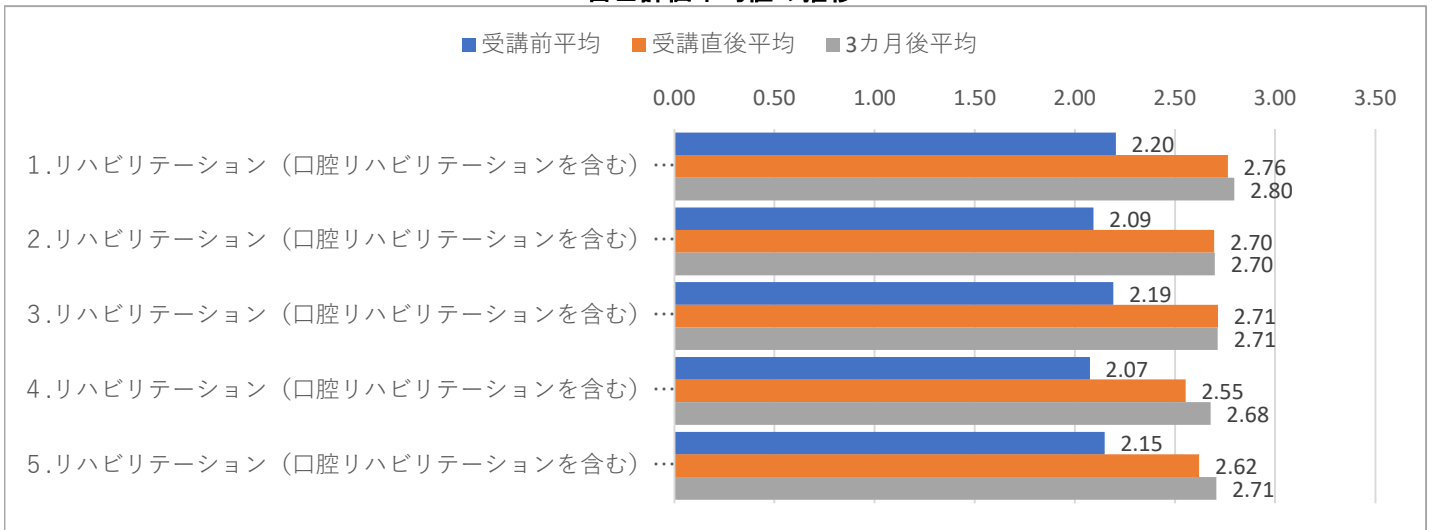
自己評価の割合の推移



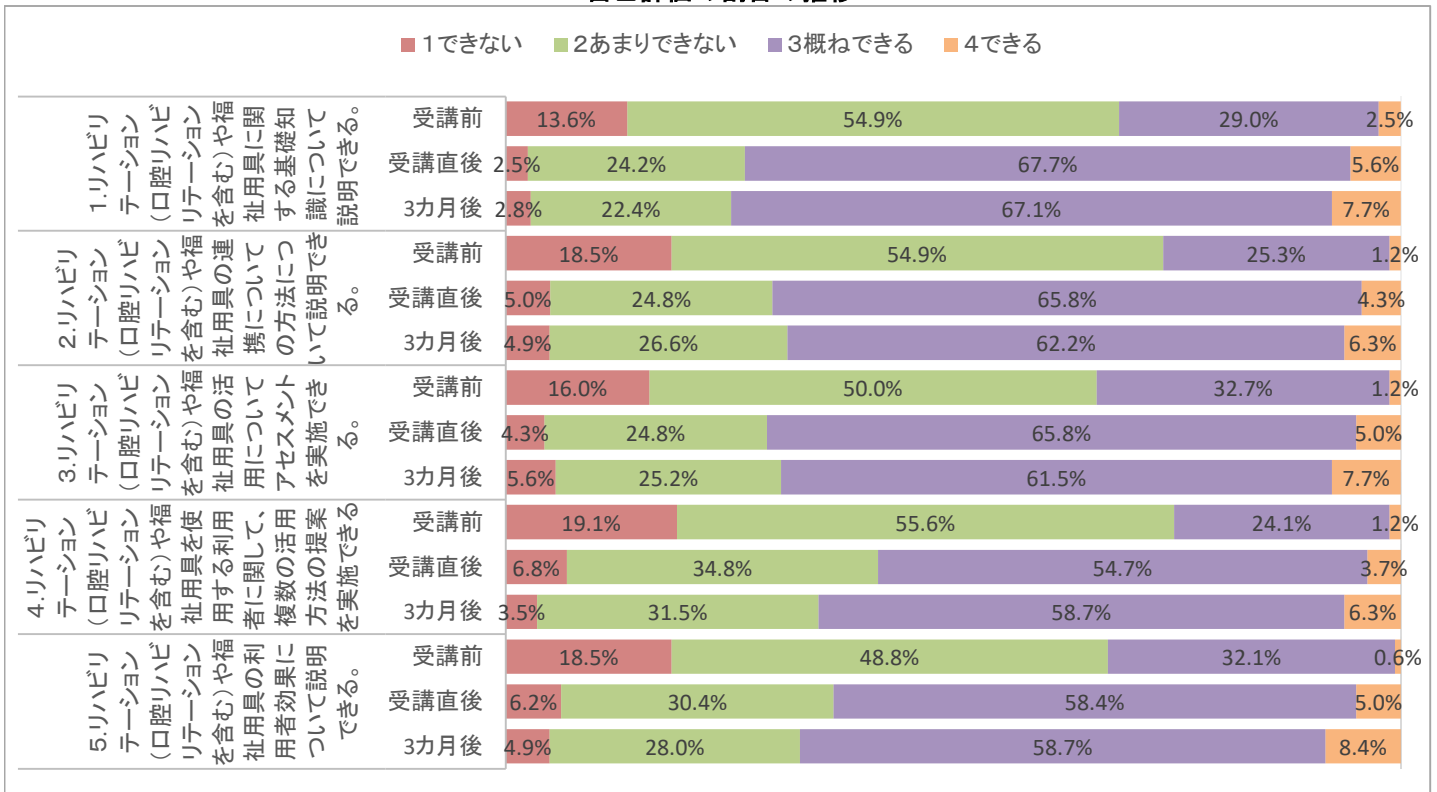
⑥-1 リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. リハビリテーション（口腔リハビリテーションを含む）や福祉用具に関する基礎知識について説明できる。	2.20	2.76	2.80	0.59	0.56	0.03
2. リハビリテーション（口腔リハビリテーションを含む）や福祉用具の連携についての方法について説明できる。	2.09	2.70	2.70	0.61	0.60	0.00
3. リハビリテーション（口腔リハビリテーションを含む）や福祉用具の活用についてアセスメントを実施できる。	2.19	2.71	2.71	0.52	0.52	0.00
4. リハビリテーション（口腔リハビリテーションを含む）や福祉用具を使用する利用者に関して、複数の活用方法の提案を実施できる	2.07	2.55	2.68	0.60	0.48	0.13
5. リハビリテーション（口腔リハビリテーションを含む）や福祉用具の利用者効果について説明できる。	2.15	2.62	2.71	0.56	0.47	0.09
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	162	161	143

自己評価平均値の推移



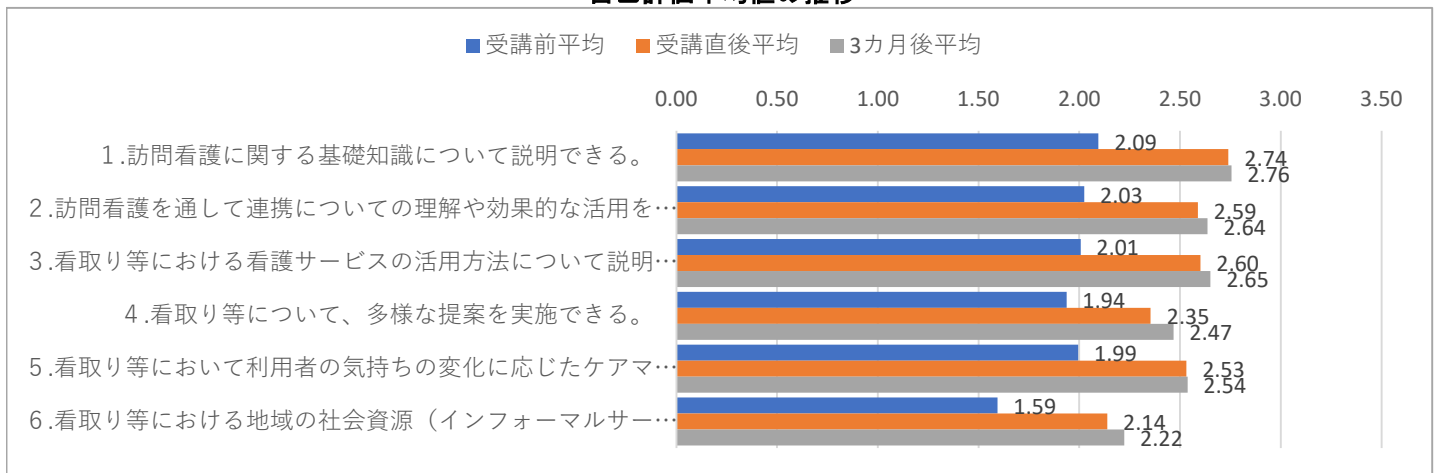
自己評価の割合の推移



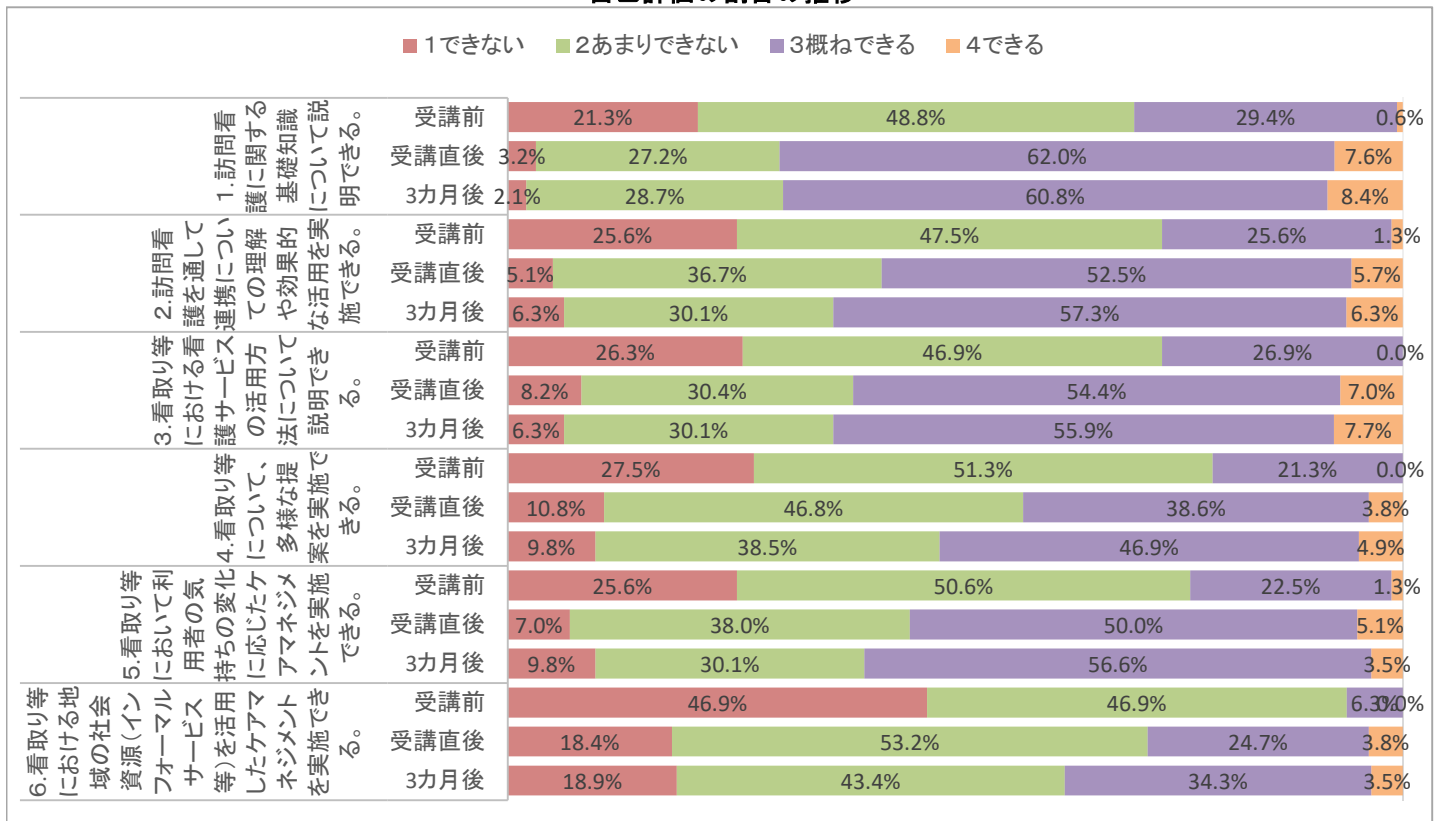
⑥-2 看取り等における看護サービスの活用に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 訪問看護に関する基礎知識について説明できる。	2.09	2.74	2.76	0.66	0.65	0.01
2. 訪問看護を通して連携についての理解や効果的な活用を実施できる。	2.03	2.59	2.64	0.61	0.56	0.05
3. 看取り等における看護サービスの活用方法について説明できる。	2.01	2.60	2.65	0.64	0.60	0.05
4. 看取り等について、多様な提案を実施できる。	1.94	2.35	2.47	0.53	0.42	0.11
5. 看取り等において利用者の気持ちの変化に応じたケアマネジメントを実施できる。	1.99	2.53	2.54	0.54	0.54	0.01
6. 看取り等における地域の社会資源（インフォーマルサービス等）を活用したケアマネジメントを実施できる。	1.59	2.14	2.22	0.63	0.55	0.08
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	160	158	143

自己評価平均値の推移



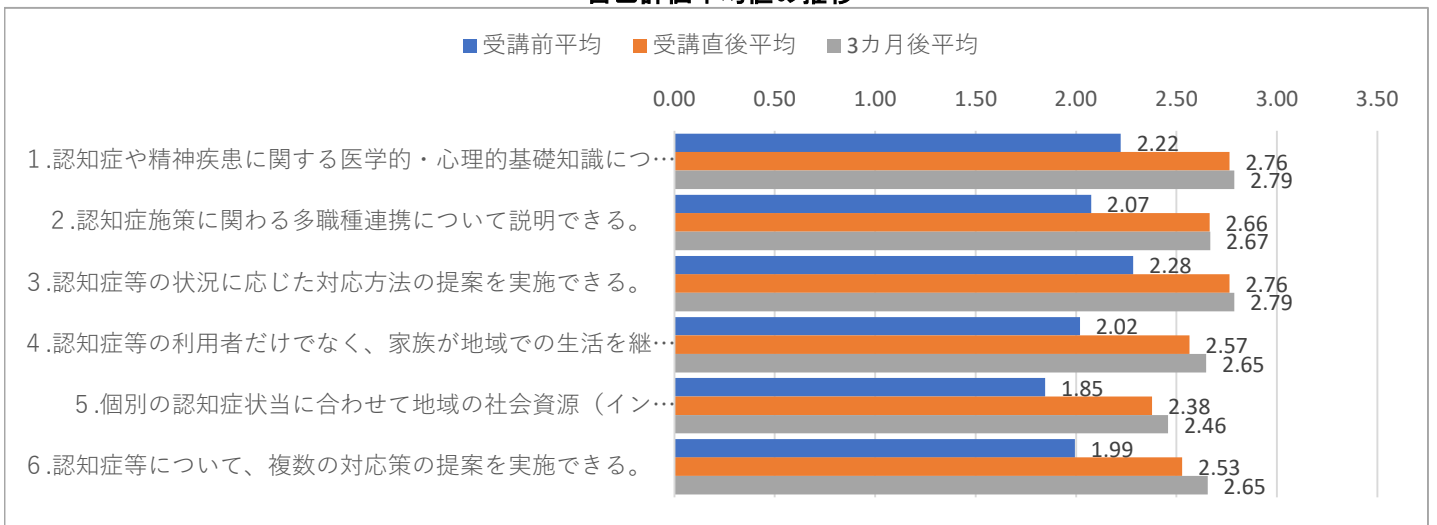
自己評価の割合の推移



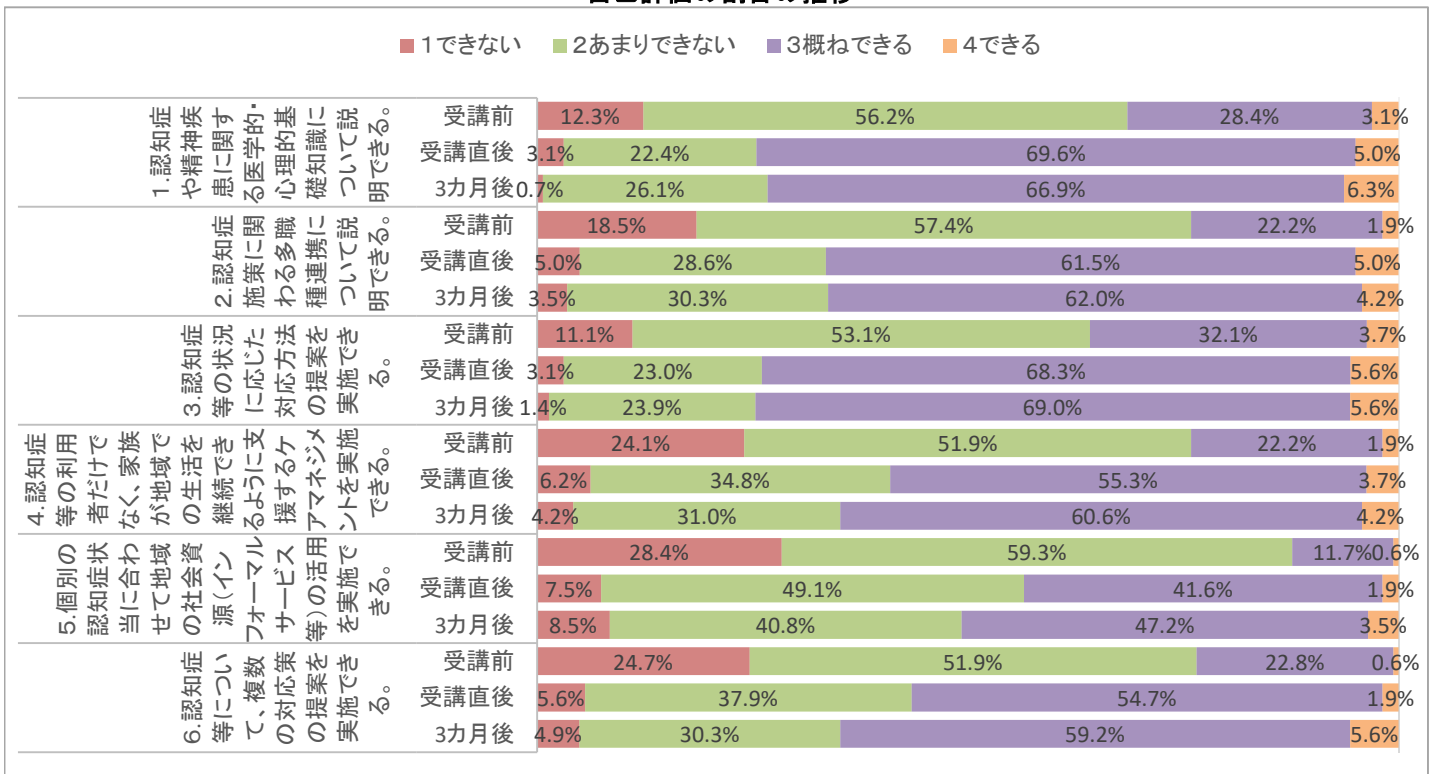
⑥-3 認知症に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 認知症や精神疾患に関する医学的・心理的基礎知識について説明できる。	2.22	2.76	2.79	0.57	0.54	0.02
2. 認知症施策に関わる多職種連携について説明できる。	2.07	2.66	2.67	0.59	0.59	0.00
3. 認知症等の状況に応じた対応方法の提案を実施できる。	2.28	2.76	2.79	0.50	0.48	0.02
4. 認知症等の利用者だけでなく、家族が地域での生活を継続できるように支援するケアマネジメントを実施できる。	2.02	2.57	2.65	0.63	0.55	0.08
5. 個別の認知症状当に合わせて地域の社会資源（インフォーマルサービス等）の活用を実施できる。	1.85	2.38	2.46	0.61	0.53	0.08
6. 認知症等について、複数の対応策の提案を実施できる。	1.99	2.53	2.65	0.66	0.53	0.13
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	162	161	142

自己評価平均値の推移



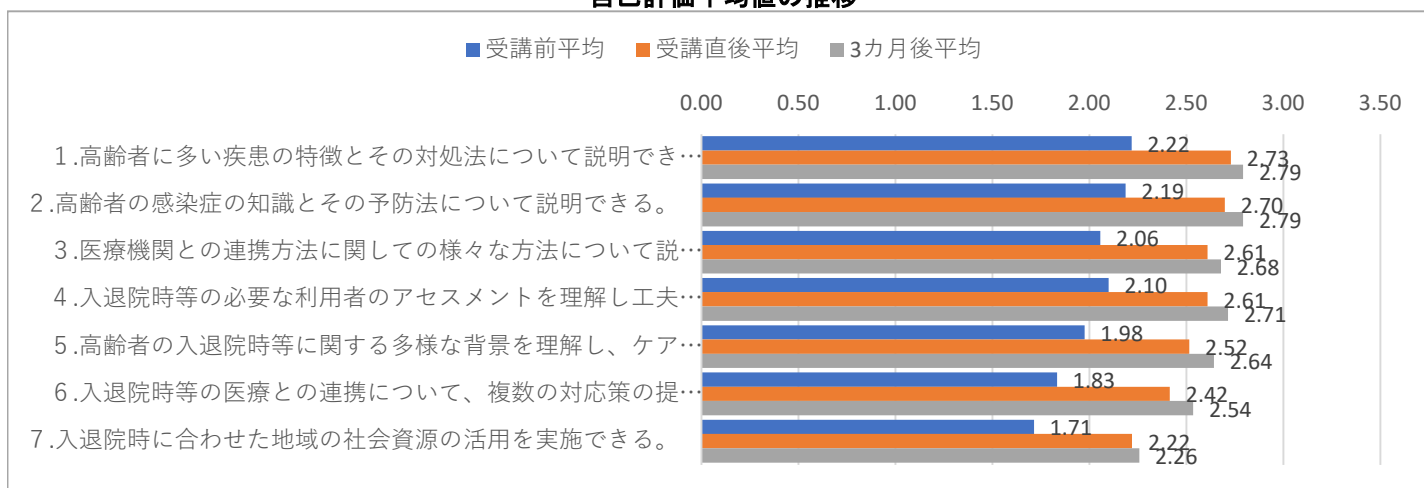
自己評価の割合の推移



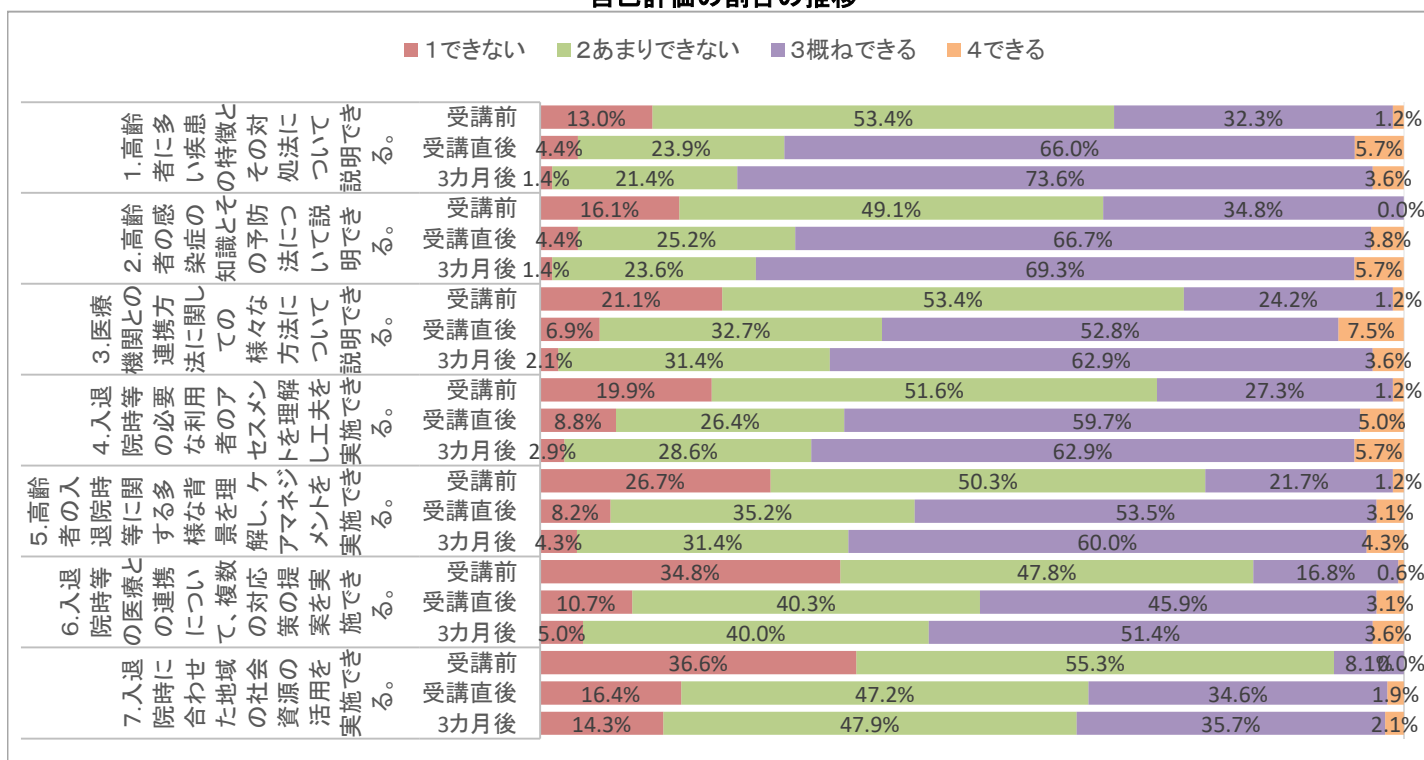
⑥-4 入退院時等における医療との連携に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 高齢者に多い疾患の特徴とその対処法について説明できる。	2.22	2.73	2.79	0.58	0.51	0.06
2. 高齢者の感染症の知識とその予防法について説明できる。	2.19	2.70	2.79	0.61	0.51	0.09
3. 医療機関との連携方法に関しての様々な方法について説明できる。	2.06	2.61	2.68	0.62	0.55	0.07
4. 入退院時等の必要な利用者のアセスメントを理解し工夫を実施できる。	2.10	2.61	2.71	0.61	0.51	0.10
5. 高齢者の入退院時等に関する多様な背景を理解し、ケアマネジメントを実施できる。	1.98	2.52	2.64	0.67	0.54	0.13
6. 入退院時等の医療との連携について、複数の対応策の提案を実施できる。	1.83	2.42	2.54	0.70	0.58	0.12
7. 入退院時に合わせた地域の社会資源の活用を実施できる。	1.71	2.22	2.26	0.54	0.51	0.04
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	161	159	140

自己評価平均値の推移



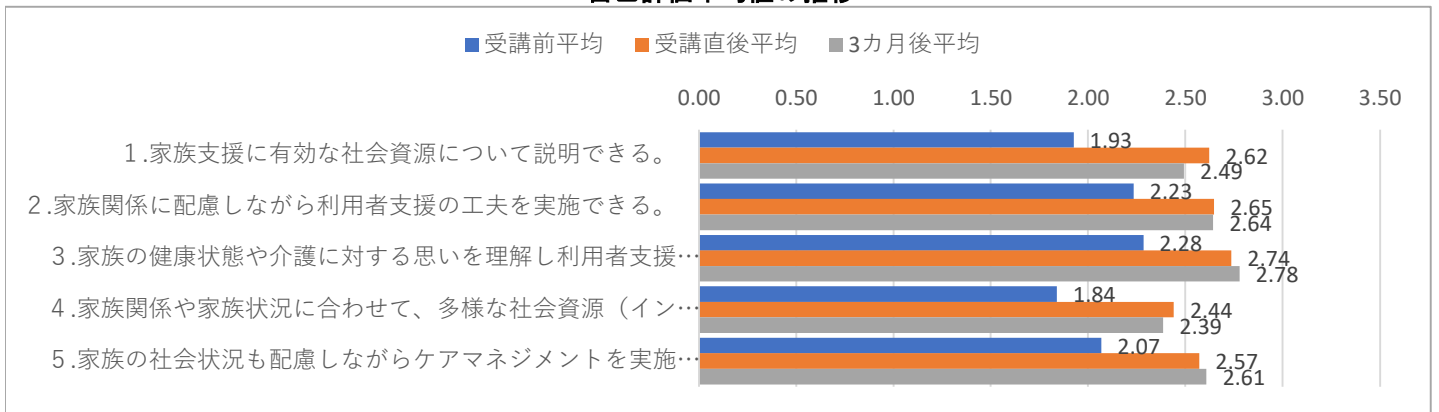
自己評価の割合の推移



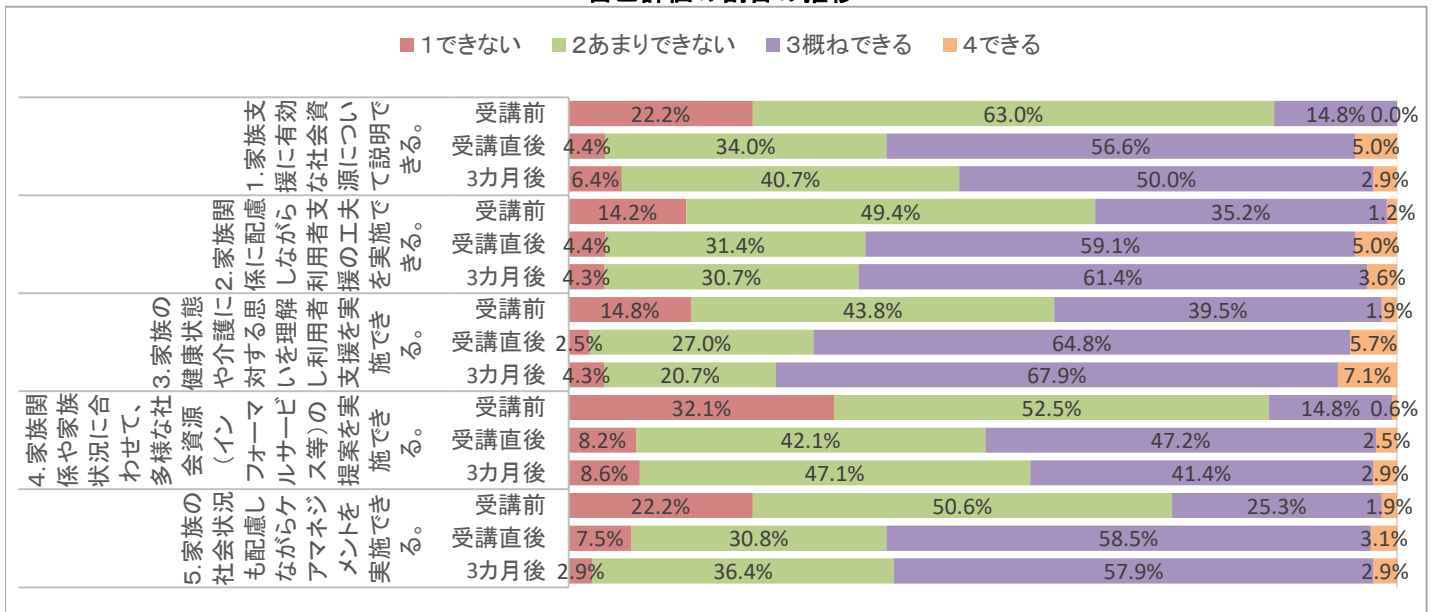
⑥-5 家族への支援の視点が必要な事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前⇒3 増加量	前⇒後 増加量	後⇒3 増加量
1. 家族支援に有効な社会資源について説明できる。	1.93	2.62	2.49	0.57	0.70	-0.13
2. 家族関係に配慮しながら利用者支援の工夫を実施できる。	2.23	2.65	2.64	0.41	0.41	0.00
3. 家族の健康状態や介護に対する思いを理解し利用者支援を実施できる。	2.28	2.74	2.78	0.49	0.45	0.04
4. 家族関係や家族状況に合わせて、多様な社会資源（インフォーマルサービス等）の提案を実施できる。	1.84	2.44	2.39	0.55	0.60	-0.05
5. 家族の社会状況も配慮しながらケアマネジメントを実施できる。	2.07	2.57	2.61	0.54	0.50	0.03
	受講前回答数	受講直後回答数	3カ月後回答数	162	159	140

自己評価平均値の推移



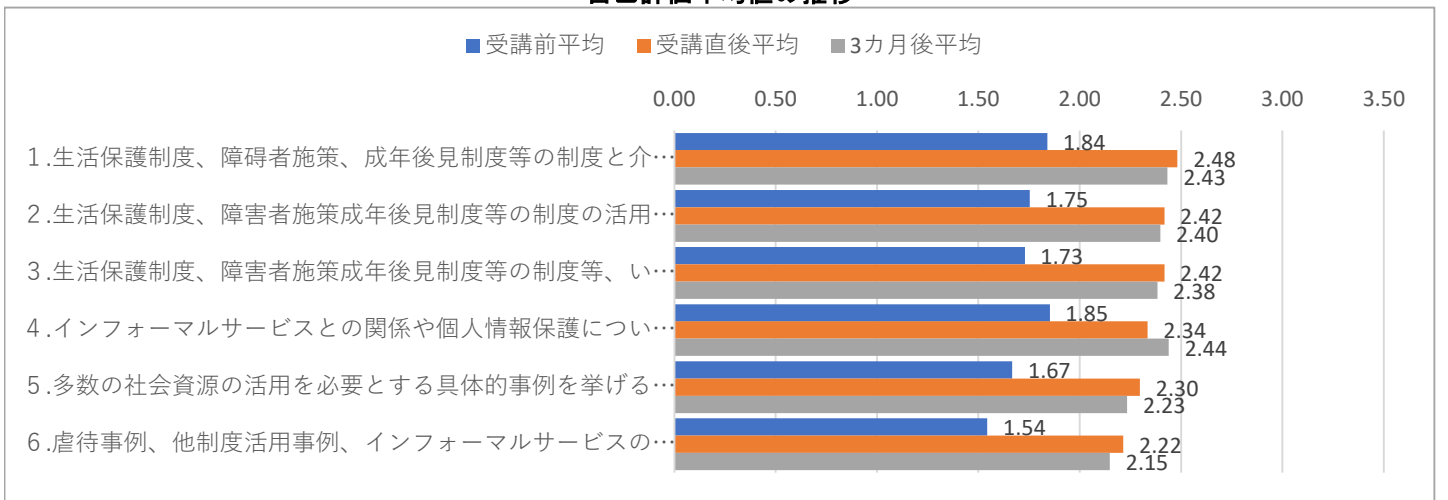
自己評価の割合の推移



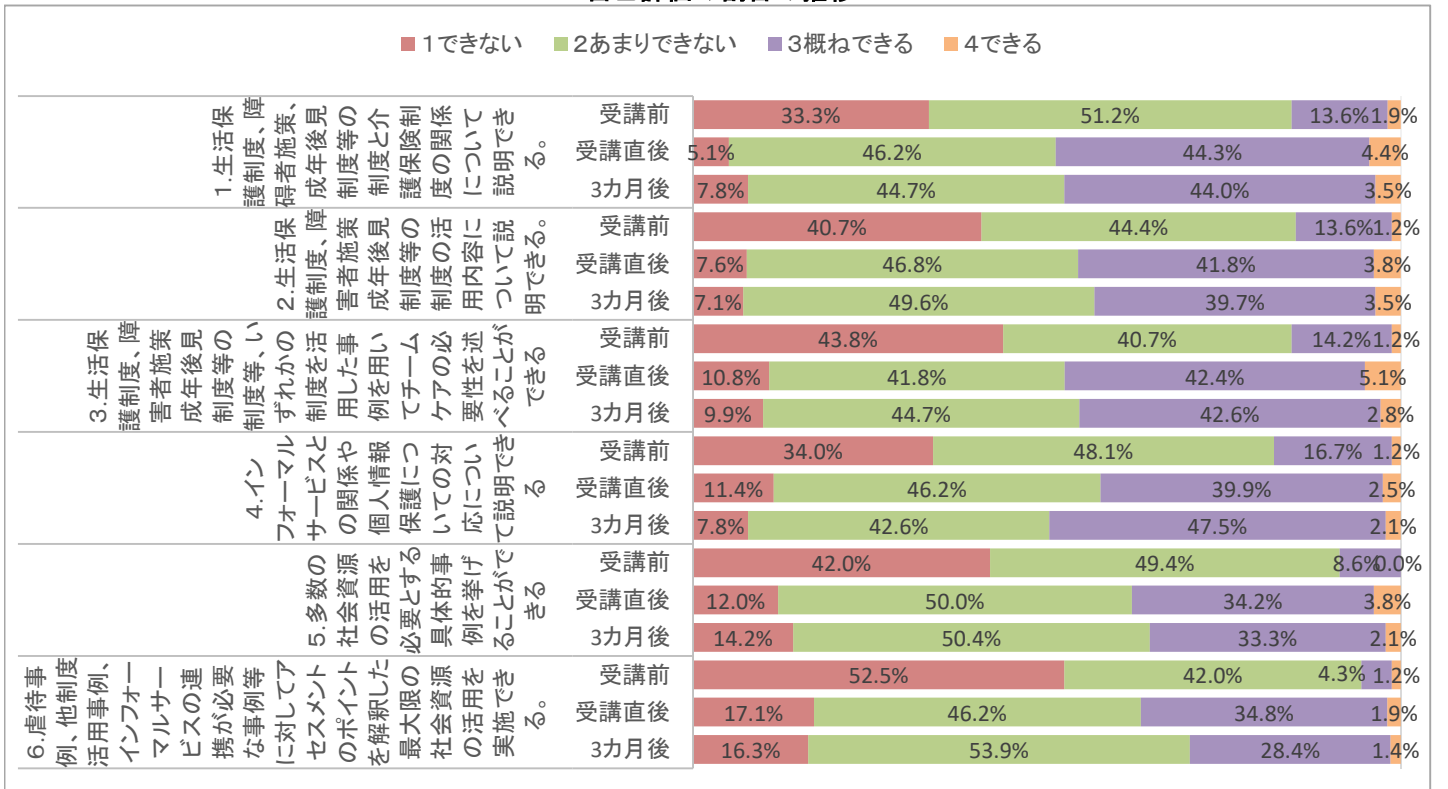
⑥-6 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1.生活保護制度、障害者施策、成年後見制度等の制度と介護保険制度の関係について説明できる。	1.84	2.48	2.43	0.59	0.64	-0.05
2.生活保護制度、障害者施策成年後見制度等の制度の活用内容について説明できる。	1.75	2.42	2.40	0.64	0.66	-0.02
3.生活保護制度、障害者施策成年後見制度等の制度等、いずれかの制度を活用した事例を用いてチームケアの必要性を述べるができる	1.73	2.42	2.38	0.65	0.69	-0.03
4.インフォーマルサービスとの関係や個人情報保護についての対応について説明できる	1.85	2.34	2.44	0.59	0.48	0.10
5.多数の社会資源の活用を必要とする具体的事例を挙げることができる	1.67	2.30	2.23	0.57	0.63	-0.06
6.虐待事例、他制度活用事例、インフォーマルサービスの連携が必要な事例等に対してアセスメントのポイントを解釈した最大限の社会資源の活用を実施できる。	1.54	2.22	2.15	0.61	0.67	-0.07
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	162	158	141

自己評価平均値の推移



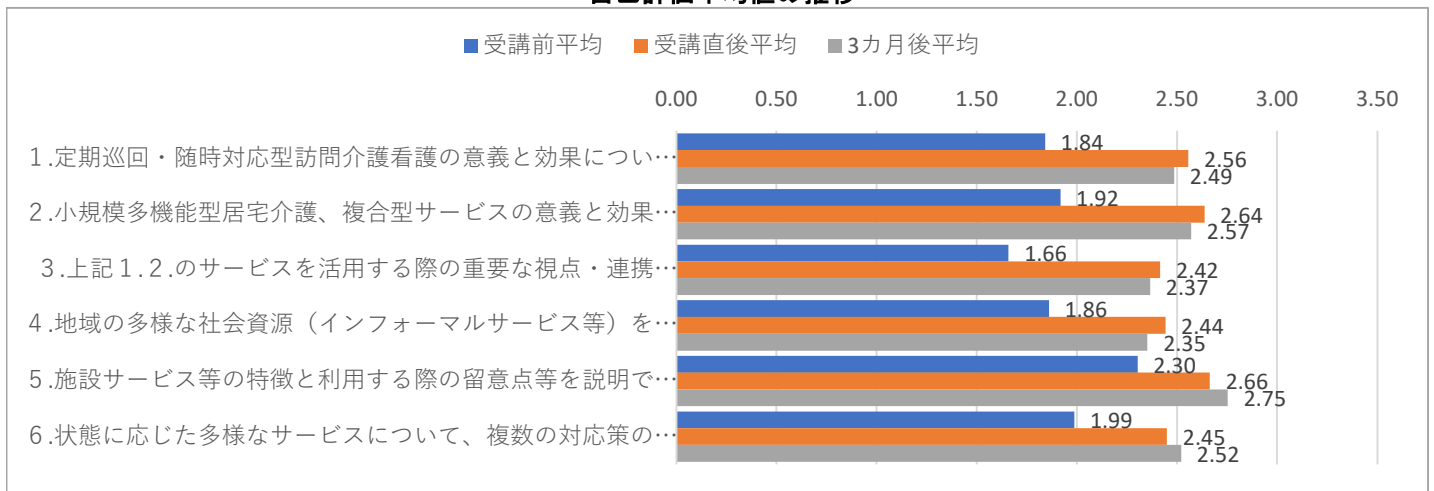
自己評価の割合の推移



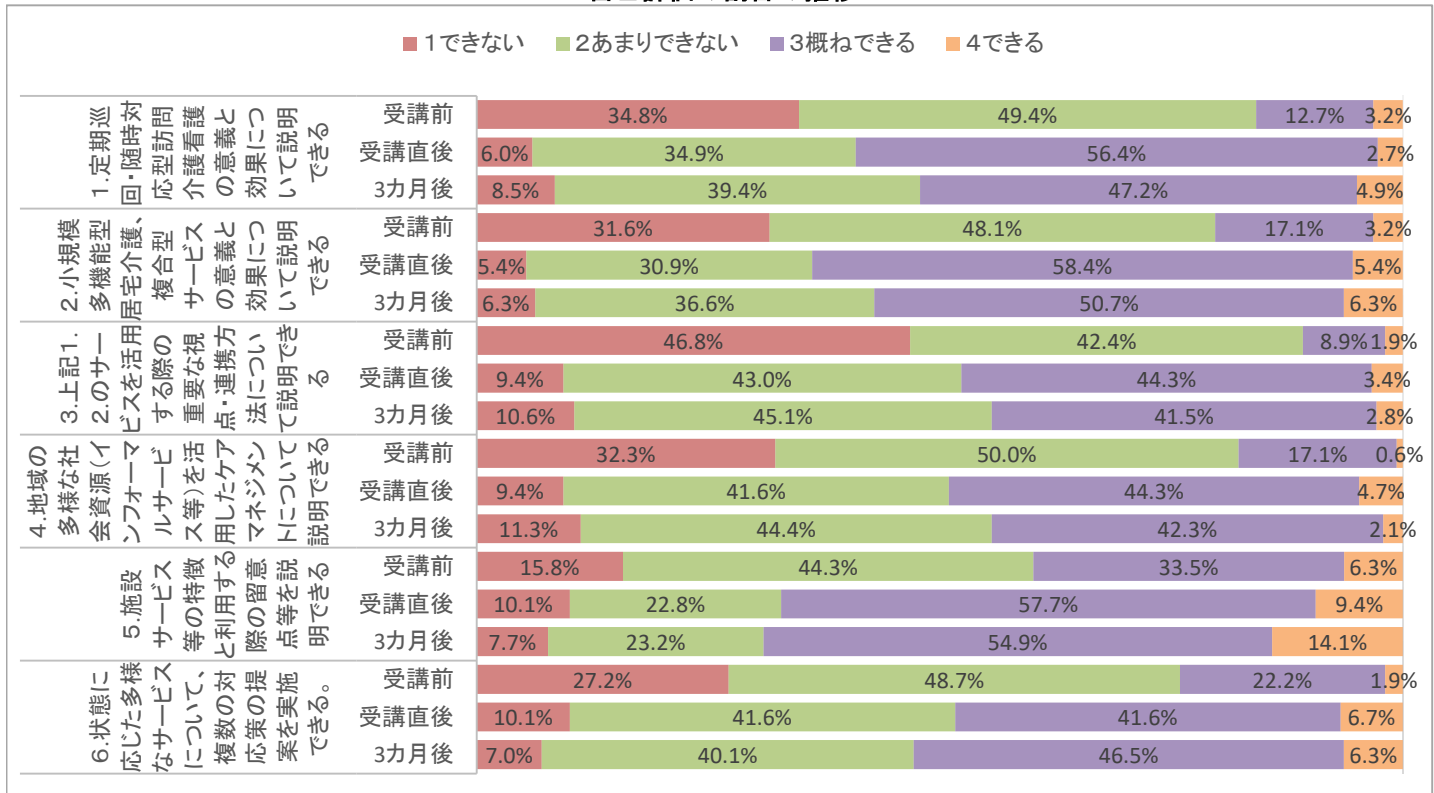
⑥-7状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の意義と効果について説明できる	1.84	2.56	2.49	0.64	0.72	-0.07
2. 小規模多機能型居宅介護、複合型サービスの意義と効果について説明できる	1.92	2.64	2.57	0.65	0.72	-0.07
3. 上記1.2.のサービスを活用する際の重要な視点・連携方法について説明できる	1.66	2.42	2.37	0.71	0.76	-0.05
4. 地域の多様な社会資源（インフォーマルサービス等）を活用したケアマネジメントについて説明できる	1.86	2.44	2.35	0.49	0.58	-0.09
5. 施設サービス等の特徴と利用する際の留意点等を説明できる	2.30	2.66	2.75	0.45	0.36	0.09
6. 状態に応じた多様なサービスについて、複数の対応策の提案を実施できる。	1.99	2.45	2.52	0.53	0.46	0.07
	受講前回答数	受講直後回答数	3カ月後回答数	158	149	142

自己評価平均値の推移



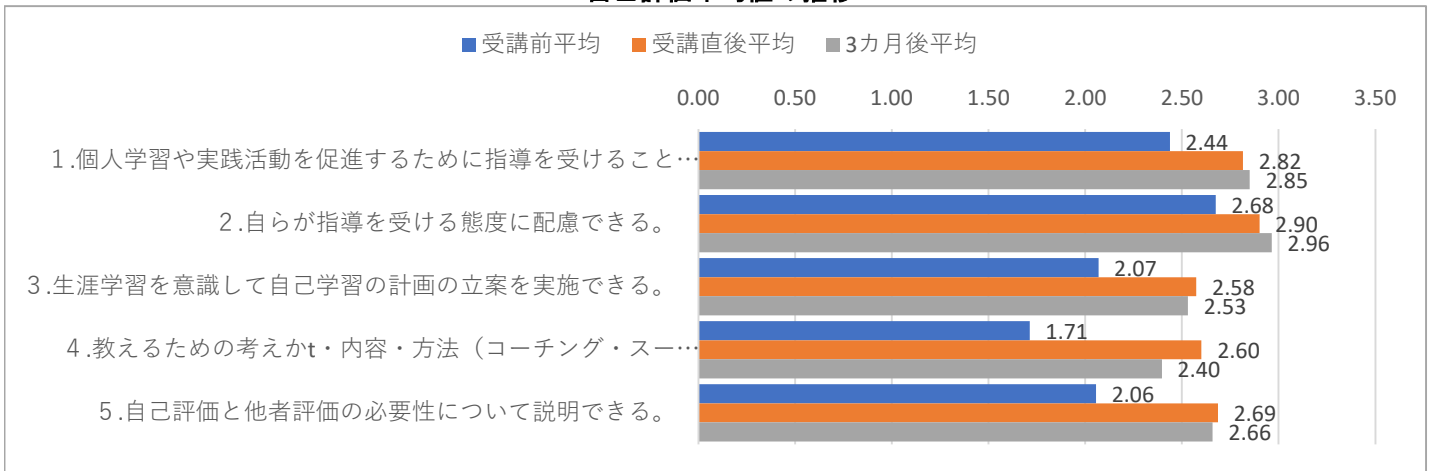
自己評価の割合の推移



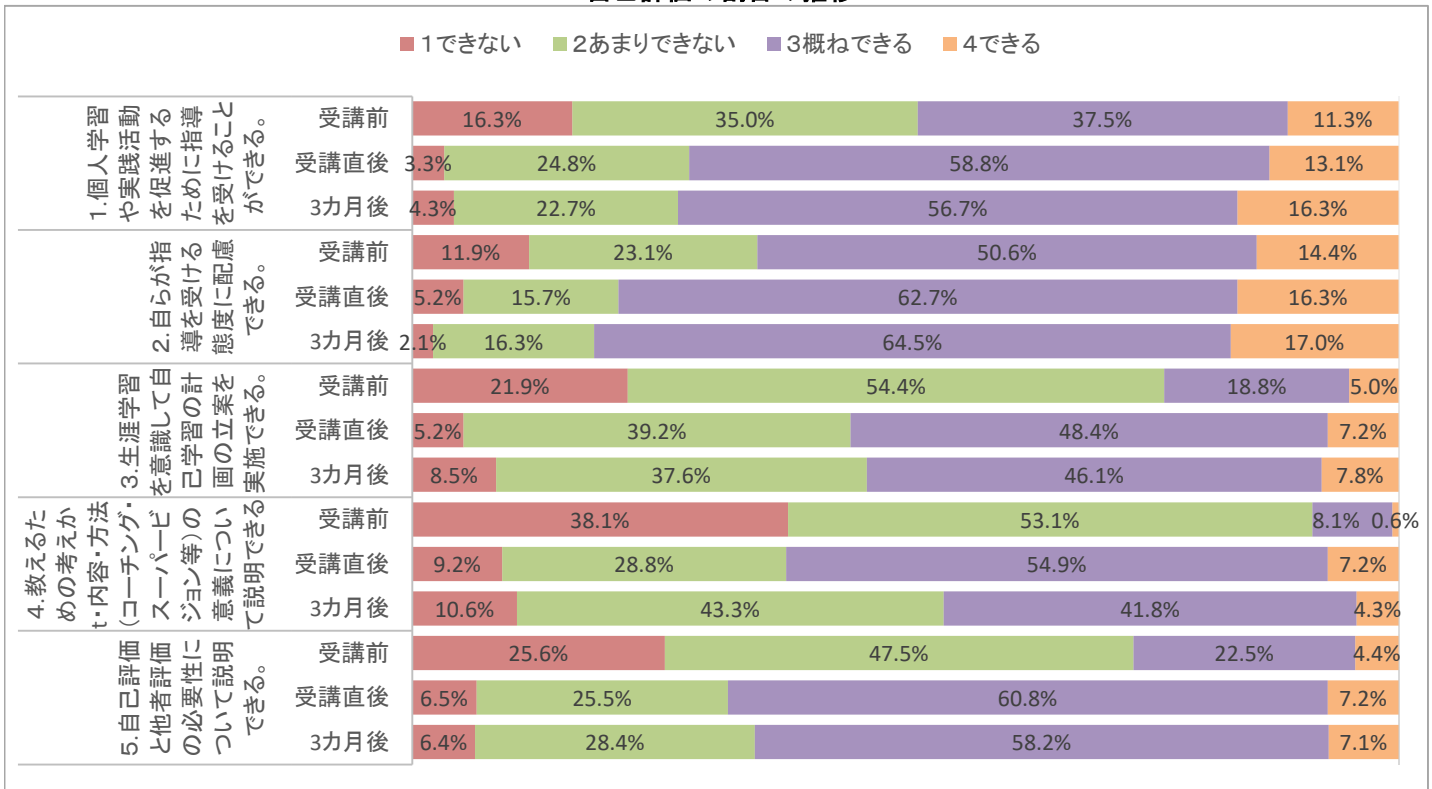
⑦個人での学習及び介護支援専門員相互の学習

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増加量	前→後 増加量	後→3 増加量
1. 個人学習や実践活動を促進するために指導を受けることができる。	2.44	2.82	2.85	0.41	0.38	0.03
2. 自らが指導を受ける態度に配慮できる。	2.68	2.90	2.96	0.29	0.23	0.06
3. 生涯学習を意識して自己学習の計画の立案を実施できる。	2.07	2.58	2.53	0.46	0.51	-0.04
4. 教えるための考えかた・内容・方法（コーチング・スーパービジョン等）の意義について説明できる	1.71	2.60	2.40	0.68	0.89	-0.20
5. 自己評価と他者評価の必要性について説明できる。	2.06	2.69	2.66	0.60	0.63	-0.03
	受講前回 答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	160	153	141

自己評価平均値の推移



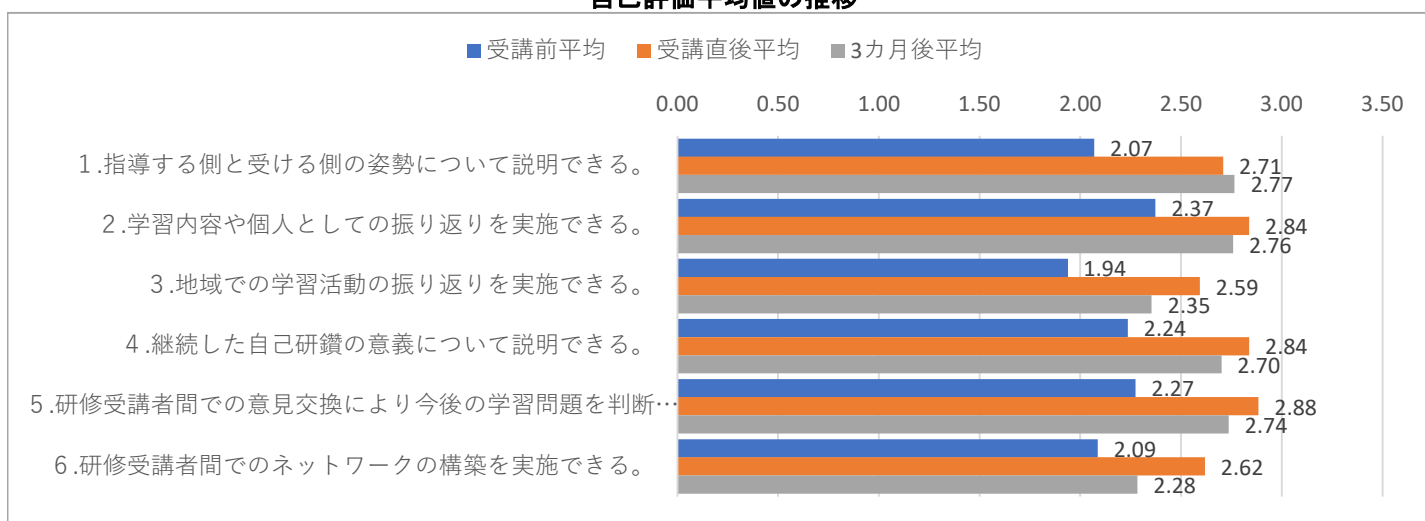
自己評価の割合の推移



⑧研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増加量	前→後増加量	後→3増加量
1. 指導する側と受ける側の姿勢について説明できる。	2.07	2.71	2.77	0.70	0.64	0.06
2. 学習内容や個人としての振り返りを実施できる。	2.37	2.84	2.76	0.39	0.47	-0.08
3. 地域での学習活動の振り返りを実施できる。	1.94	2.59	2.35	0.42	0.66	-0.24
4. 継続した自己研鑽の意義について説明できる。	2.24	2.84	2.70	0.47	0.60	-0.14
5. 研修受講者間での意見交換により今後の学習問題を判断できる。	2.27	2.88	2.74	0.46	0.61	-0.15
6. 研修受講者間でのネットワークの構築を実施できる。	2.09	2.62	2.28	0.20	0.53	-0.34
	受講前回 回答数	受講直後 回答数	3カ月後 回答数	161	155	141

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

